

平成28年 第1回

# 戸田市教育委員会定例会

平成28年1月28日(木) 午前9時30分

戸田市役所 3階 教育委員室

戸田市教育委員会

# 第1回教育委員会（定例会）次第

## 1 開会

## 2 前回の会議録の承認

## 3 教育委員提案について 別添 資料No.1のとおり

## 4 報告事項 別添 資料No.2のとおり

## 5 議事

ページ

### (1) 専決処理事項の報告

報告第 1号 前谷遺跡における遺跡範囲確認調査について…………… 1

### (2) 議案

議案第 1号 平成27年度一般会計教育委員会関係2月補正予算（案）について…………… 3

議案第 2号 平成27年度一般会計教育委員会関係3月補正予算（案）について…………… 4

議案第 3号 平成28年度一般会計教育委員会関係予算（案）について…………… 7

議案第 4号 平成28年度海外留学奨学事業特別会計予算（案）について…………… 15

議案第 5号 戸田市教育委員会教育功労者表彰・戸田市教育委員会教職員表彰に  
ついて……………別紙

議案第 6号 戸田市有形文化財の指定について…………… 16

## 6 その他

### (1) 次回の教育委員会の日程（案）

平成28年2月18日（木）午前9時30分～

### (2) その他

## 7 閉 会

## 前谷遺跡における遺跡範囲確認調査について

## 1 周知の埋蔵文化財包蔵地範囲の変更・増補

## (1) 前谷遺跡

平成27年12月8日に戸建住宅建設に伴う遺跡範囲確認調査を実施したところ、弥生時代後期後半～古墳時代前期前半に帰属すると考えられる竪穴住居1軒、周溝状遺構1基、溝状遺構3基、土坑4基、ピット5基を検出しました。その他にも遺物（土師器ほか）を検出しました。

この結果に伴い、平成27年12月17日付で第1図のとおり前谷遺跡の変更・増補を行い、戸教生第1076号にて県教育委員会宛てに報告を行いました。

なお、本調査地では戸建住宅建設に伴う建設工事の予定があるため、前谷遺跡第5次発掘調査の実施に向け、今後、開発事業者と協議を行う予定です。



第1図 前谷遺跡範囲変更・増補範囲（青枠）

## 参考資料

### 文化財保護法 ～抜粋～

第95条 国及び地方公共団体は、周知の埋蔵文化財包蔵地について、資料の整備その他その周知の徹底を図るために必要な措置の実施に努めなければならない。

### 文化庁通知（平成10年9月29日 文化庁次長通知） ～抜粋～

#### 埋蔵文化財の保護と発掘調査の円滑化等について

#### 四 埋蔵文化財の把握と周知について

##### （二）埋蔵文化財包蔵地の把握と周知埋蔵文化財包蔵地としての決定

埋蔵文化財包蔵地の所在・範囲の把握は、地域に密着して埋蔵文化財の状況を適切に把握することができる市町村教育委員会が行うこと。

（略）

埋蔵文化財の所在・範囲は、これまでに行われた諸調査の成果に加え、今後、埋蔵文化財包蔵地の所在・範囲の目的をとして行う分布調査、試掘、確認調査その他の調査の結果によつて的確に把握し、常時新たな情報に基づいて内容の更新と高精度化を図ること。

（略）

前記によつて把握された埋蔵文化財包蔵地については、都道府県教育委員会が、関係市町村の教育委員会との間でその所在・範囲についての調整を行い、周知の埋蔵文化財包蔵地として決定すること。

##### （三）周知の埋蔵文化財包蔵地の所在・範囲の資料化と周知の徹底

前記（二）により都道府県教育委員会が決定した周知の埋蔵文化財包蔵地については、都道府県及び市町村において、「遺跡地図」、「遺跡台帳」等の資料に登載し、それぞれの地方公共団体の担当部局等に常備し閲覧可能にする等による周知の徹底を図ること。また、必要に応じて、関係資料の配布等の措置を講ずること。

平成27年度 一般会計 教育委員会関係 2月補正予算(案)について

(歳出)

(単位：千円)

款・項・目・大事業・中事業	補正前の額 (中事業)	補正額 (中事業)	計 (中事業)	説 明	節 : 節 細節 : ○ 細々節 : ・
10教育費 07教育諸費 01教育振興費 01入学準備金貸付事業 <b>01入学準備金貸付事業</b> (教育総務課)	23,445	10,200	33,645	節21貸付金 ○01長期貸付金 ・01入学準備金 【補正理由】 予算額を大幅に超える申請が見込まれることによる増額 補正	10,200 10,200 10,200

(債務負担行為)

(単位：千円)

事 項	期 間	限 度 額
補習授業業務委託料 (指導課)	平成28年度	12,783
A L T派遣業務手数料 (指導課)	平成28年度	48,487

## 平成27年度 一般会計 教育委員会関係 3月補正予算(案)について

(歳入)

(単位:千円)

款・項・目・節	補正前の額 (節)	補正額 (節)	計 (節)	説 明	細 節 : ○ 細々節 : ・
15県支出金 02県補助金 05教育費県補助金 <b>01教育総務費補助金</b> (学務課)	0	749	749	○03被災児童生徒就学援助費 【補正理由】国の継続実施決定に伴う補正	749

(歳出)

(単位:千円)

款・項・目・大事業・中事業	補正前の額 (中事業)	補正額 (中事業)	計 (中事業)	説 明	節 : 節 細 節 : ○ 細々節 : ・
10教育費 01教育総務費 02事務局費 05就学援助事業 <b>01就学援助事業</b> (学務課)	395	△395	0	節13委託料 ・01就学援助管理システム改修業務 【補正理由】市民税課税情報のシステム連携ファイルにおける税法改正 対応が実施されなかったことに伴う減額補正	△395 △395
10教育費 02小学校費 01学校管理費 03小学校施設管理費 <b>01小学校施設管理費</b> (教育総務課)	457,643	△5,435	452,208	節13委託料 ・23教室用パソコンシステム構築業務 【補正理由】契約差金が生じたことに伴う減額補正	△5,435 △5,435
10教育費 02小学校費 02学校建設費 01小学校施設整備事業 <b>01小学校施設整備事業</b> (教育総務課)	733,634	△86,184	647,450	節13委託料 ・01新曾北小学校設備改修工事設計業務 ・02新曾小学校設備改修工事監理業務 ・03戸田東小学校設備改修工事監理業務 節15工事請負費 ・01新曾小学校設備改修 ・02戸田東小学校設備改修 【補正理由】契約差金が生じたことに伴う減額補正	△6,596 △5,074 △761 △761 △79,588 △34,880 △44,708

(単位：千円)

款・項・目・大事業・中事業	補正前の額 (中事業)	補正額 (中事業)	計 (中事業)	説 明	節 : 節 細節 : ○ 細々節 : ・
10教育費 03中学校費 01学校管理費 03中学校施設管理費 <b>01中学校施設管理費</b> (教育総務課)	207,966	△ 2,565	205,401	節13委託料 ・19教室用パソコンシステム構築業務 【補正理由】 契約差金が生じたことに伴う減額補正	△ 2,565 △ 2,565
10教育費 03中学校費 02学校建設費 01中学校施設整備事業 <b>01中学校施設整備事業</b> (教育総務課)	363,316	△ 64,292	299,024	節13委託料 ・01美笹中学校設備改修工事設計業務 ・02新曾中学校設備改修工事監理業務 節15工事請負費 ・01新曾中学校設備改修 【補正理由】 契約差金が生じたことに伴う減額補正	△ 7,405 △ 6,513 △ 892 △ 56,887 △ 56,887
10教育費 04社会教育費 <b>02公民館費</b> 03上戸田公民館事業 <b>01上戸田公民館事業</b> (生涯学習課)	3,003	△ 824	2,179	節01報酬 ○03非常勤職員報酬 【補正理由】 上戸田公民館閉館に伴う社会教育指導員報酬の減額補正	△ 824 △ 824
10教育費 06学校給食費 01学校給食センター費 03学校給食センター管理運営費 <b>01学校給食センター管理運営費</b> (学校給食課)	426,726	△ 738	425,988	節13委託料 ・02給食受入業務 【補正理由】 契約差金が生じたことに伴う減額補正	△ 738 △ 738
10教育費 06学校給食費 02単独校給食費 01単独校調理場管理運営事業 <b>01単独校調理場管理運営事業</b>	573,965	△ 10,110	563,855	節13委託料 ・01調理業務 【補正理由】 契約差金が生じたことに伴う減額補正	△ 10,110 △ 10,110

(単位：千円)

款・項・目・大事業・中事業	補正前の額 (中事業)	補正額 (中事業)	計 (中事業)	説 明	節 : 節 細節 : ○ 細々節 : ・
10教育費 07教育諸費 02奨学資金貸付金 01奨学資金貸付事業 <b>01奨学資金貸付事業</b> (教育総務課)	38,361	△ 5,340	33,021	節21貸付金 ○01長期貸付金 ・01奨学資金 【補正理由】貸付額が確定したことによる補正	△ 5,340 △ 5,340 △ 5,340



## 平成28年度一般会計教育委員会関係予算（案）について

(単位:千円)

所管課	大事業名	主な事業内容	28年度 予算額 [A]	27年度 予算額 [B]	比較	
					増減額 [A] - [B] = [C]	増減率 [C] / [B] %
	教育委員会	総額	3,787,590	3,981,349	-193,759	-4.9%
教育総務課	教育委員会費	教育委員の報酬及び活動諸経費	3,563	3,666	-103	-2.8%
	教育委員会事務局費	教育委員会事務局に係る各種協議会負担金及び連絡、調整、各種調査等の経費	5,622	7,088	-1,466	-20.7%
	小学校管理事務費	小学校施設管理費に統合	0	2,979	-2,979	-100.0%
	小学校施設管理費	小学校で使用する消耗品等の経費 光熱水費及び施設・設備の修繕、管理業務委託等の経費	546,732	451,506	95,226	21.1%
	小学校備品購入費	小学校で使用する一般備品、教材備品等の経費 ※学童等災害共済条例廃止に伴う備品要望等	44,731	37,161	7,570	20.4%
	小学校施設整備事業	小学校の校舎、屋内運動場等の学校施設において、児童が安全・快適に学校生活を送れるよう、施設を整備・改修するための経費 ※新曽北小学校の設備改修工事及び戸田東小中学校の建替えに向けた耐力度調査業務	368,481	733,634	-365,153	-49.8%

所管課	大事業名	主な事業内容	28年度 予算額 [A]	27年度 予算額 [B]	比較	
					増減額 [A] - [B] = [C]	増減率 [C] / [B] %
教育総務課	中学校管理事務費	中学校施設管理費に統合	0	2,524	-2,524	-100.0%
	中学校施設管理費	中学校で使用する消耗品等の経費 光熱水費及び施設・設備の修繕、管理業務委託等の経費	250,787	205,033	45,754	22.3%
	中学校備品購入費	中学校で使用する一般備品、教材備品等の経費 ※学童等災害共済条例廃止に伴う備品要望等	20,445	15,567	4,878	31.3%
	中学校施設整備事業	中学校の校舎、屋内運動場等の学校施設において、生徒が安全・快適に学校生活を送れるよう、施設を整備・改修するための経費 ※美笹中学校の設備改修工事及び中学校3校の武道場天井の耐震改修設計業務	402,234	363,316	38,918	10.7%
	入学準備金貸付事業	経済的な理由により入学準備金の調達が困難な保護者に入学準備金を貸付けするための経費	32,253	23,445	8,808	37.6%
	奨学資金貸付事業	経済的な理由により就学困難な者に奨学資金を貸し付ける経費	35,541	38,361	-2,820	-7.4%
計			1,710,389	1,884,280	-173,891	-9.2%

所管課	大事業名	主な事業内容	28年度 予算額 [A]	27年度 予算額 [B]	比較	
					増減額 [A]-[B]=[C]	増減率 [C]/[B]%
学務課	学校褒賞事業	学校医等への報償金及び感謝状等の経費	197	197	0	0.0%
	学校教育事務費	小中学校通学区域審議会の報酬、各種負担金及び中学校学校選択制等にかかる経費	10,188	10,065	123	1.2%
	就学援助事業	就学援助費及び特別支援教育就学奨励費を支給するための経費	133,082	132,559	523	0.4%
	学校保健事業	児童・生徒及び教職員の健康管理及び学校保健の運営に要する経費	28,853	27,754	1,099	4.0%
	小学校管理運営費	小学校児童の健康管理及び教職員の病休等市費代替教諭、学校医や学校薬剤師等への報酬及び特別支援学級や肢体不自由等への補助員の配置、児童の登下校の安全を守るため交通指導員の配置などに要する経費	95,977	91,170	4,807	5.3%
	中学校管理運営費	中学校生徒の健康管理及び教職員の病休等市費代替教諭、学校医や学校薬剤師等への報酬、特別支援学級や肢体不自由等の補助員の配置、スキー教室等により養護教諭が学校を留守にする際の教職員(看護師)の措置などに要する経費	16,570	19,486	-2,916	-15.0%
計			284,867	281,231	3,636	1.3%

所管課	大事業名	主な事業内容	28年度 予算額 [A]	27年度 予算額 [B]	比較	
					増減額 [A]-[B]=[C]	増減率 [C]/[B]%
教育政策室	教育指導事務費	小・中学校に対して、国や県の教育指導方針及び市の教育指導方針の浸透を図るための経費	828	551	277	50.3%
	学校教育指導事業	小・中学校の教育課程及び教育活動の指導強化を図るため、小学校へアクティブティーチャー(小学校14名)、小学校ジャンプアップティーチャー(小学校12名)、中学校アクティブティーチャー(中学校6名)、本好きサポーター(小・中学校18名)、理科支援員(小・中学校12名)の派遣、中学校での補習授業業務委託のための経費 新しい学びを促すICTシステムの導入及びICTレッスンアドバイザーによる活用支援のための経費 放課後の学習環境の一層の充実を図るため、インターネットに接続したパソコンを利用し、家庭でもドリル学習等を行うことができる環境を整備するための経費	101,733	92,949	8,784	9.5%
	生徒指導支援事業	中学校の生徒指導の充実を図るため、各中学校へすこやかサポーター(6名)の派遣及び子供の安全を守る活動のための経費	21,930	21,757	173	0.8%
	教職員研修費	教職員の資質の向上及び校内研修体制に向けた支援のための経費	3,018	2,975	43	1.4%
	小学校教育振興費	小学校における学習環境及び学習指導体制の充実と特色ある教育活動の振興を図るため、また、小学生が働くことの意味や社会の仕組みを理解することを目的として実施する職業体験施設における体験活動を支援するための経費	25,089	81,417	-56,328	-69.2%
	中学校教育振興費	中学校における学習環境及び学習指導体制の充実と特色ある教育活動の振興を図るための経費 ※中学校教科書採択に伴う新デジタル教科書、教師用指導書、教師用教科書購入のための経費 ※英検3級受検費用助成のための経費	48,300	22,050	26,250	119.0%
教育政策室 (教育センター)	教育センター管理運営費	教育センターの機能発揮と学習機会の提供に係る施設及び設備の管理運営のための経費	16,449	16,602	-153	-0.9%
	就学・教育相談事業	発達障害等に係る幼児児童生徒の継続的な支援体制の充実を図る事業及び適正な就学、教育相談、不登校児童生徒の学校復帰等の支援を行うための経費 ※青山学院大学との包括連携事業「いじめ対応プログラム」のための経費	42,152	41,277	875	2.1%
	研究・研修事業	今日的課題研修会や指導法に関する研修会など、教職員研修の充実を図るための経費 ※青山学院大学との包括連携事業「英語教育連携事業」等のための経費	2,962	9,577	-6,615	-69.1%
	ALT事業	外国語教育の充実と小中学校の国際理解教育の推進のための経費 各小中学校へのALT派遣のための経費	70,320	68,633	1,687	2.5%
計			332,781	357,788	-25,007	-7.0%

所管課	大事業名	主な事業内容	28年度 予算額 [A]	27年度 予算額 [B]	比較	
					増減額 [A]-[B]=[C]	増減率 [C]/[B]%
学校給食課	学校給食センター運営委員会費	年2回開催する運営委員会の委員への報酬等に要する経費	163	163	0	0.0%
	学校給食センター管理運営費	学校給食センター及び学校給食を管理運営する上で必要となる経費	440,342	438,982	1,360	0.3%
	単独校調理場管理運営事業	単独校調理場(9校)を管理運営する上で必要となる経費(戸田第一小、戸田第二小、美谷本小、笹目小、戸田東小、笹目東小、新曽北小、美女木小、芦原小)	573,439	571,727	1,712	0.3%
計			1,013,944	1,010,872	3,072	0.3%

所管課	大事業名	主な事業内容	28年度 予算額 [A]	27年度 予算額 [B]	比較	
					増減額 [A] - [B] = [C]	増減率 [C] / [B] %
生涯学習課	社会教育委員費	生涯学習事業に統合	0	484	-484	-100.0%
	社会教育指導員費	生涯学習事業に統合	0	1,433	-1,433	-100.0%
	人権教育事業	人権に関する研修・啓発事業の企画及び人権意識の向上を図るための経費	1,778	1,886	-108	-5.7%
	生涯学習事業	芦原小学校生涯学習施設管理運営、各種講座や市民大学事業などの経費	22,305	20,142	2,163	10.7%
	公民館運営審議会費	新曽公民館事業に統合	0	285	-285	-100.0%
	上戸田公民館事業	上戸田公民館閉館に伴う中事業の廃止	0	3,003	-3,003	-100.0%
	美笹公民館事業	地域住民の実際生活に即する教育、学術及び文化に関する講座を実施し、住民の教養の向上、健康の増進、情操の鈍化を図る軽費	2,766	2,674	92	3.4%
	下戸田公民館事業		3,735	3,661	74	2.0%
	新曽公民館事業		2,920	4,350	-1,430	-32.9%
	文化財保護事業	文化財の保護、保存など文化財の活用を図り、市民の文化向上に資する事業に要する経費	9,964	8,310	1,654	19.9%
少年自然の家管理運営事業	少年自然の家管理運営の指定管理料及び指定管理以外の修繕料、市用車リース料、富士見町振興協力金など施設の維持管理に要する経費	46,724	50,136	-3,412	-6.8%	
計			90,192	96,364	-6,172	-6.4%

所管課	大事業名	主な事業内容	28年度 予算額 [A]	27年度 予算額 [B]	比較	
					増減額 [A]-[B]=[C]	増減率 [C]/[B]%
図書館・ 郷土博物館 (図書館)	図書館管理運営費	図書館運営に係る、非常勤嘱託員の賃金、施設修繕、建物総合管理・図書館窓口・上戸田分館指定管理料等24業務の委託、図書館システム事務機器等の賃借料、図書等の購入に要する経費	283,900	284,895	-995	-0.3%
	図書館・郷土博物館協議会費	協議会委員の報酬、費用弁償等に要する経費	216	216	0	0.0%
図書館・ 郷土博物館 (郷土博物館)	市史編さん事業 (款02総務費 項01総務 管理費 目03市史編さん 費)	諸家文書・行政文書・地域文献等の収集・整理・保存・活用、アーカイブズ・センターの運営等に要する経費 ※平成28年度(市制50周年)に市史刊行事業の3年目で原稿の執筆及び刊行するための経費	12,313	7,842	4,471	57.0%
	郷土博物館運営費	展示室や収蔵庫等の維持管理、特別展・企画展や各種講座等の教育普及活動、歴史民俗・自然史等資料の収集・整理・保存・活用、博学連携事業等に要する経費	31,669	30,890	779	2.5%
図書館・ 郷土博物館 (彩湖自然 学習センター)	彩湖自然学習センター管理運営費	彩湖自然学習センター事業運営に係る、非常勤嘱託員の賃金、施設修繕、建物総合管理委託等施設管理に係る経費 講座開催・博学連携事業等に要する経費	27,319	26,971	348	1.3%
計			355,417	350,814	4,603	1.3%

## 平成28年度における取組の改善について（平成28年度予算参考資料）

指導課

### 中学生ジャンプアップ教室

- 目的：生徒の学力・学習意欲の向上  
内容：放課後や夏季休業中の補習授業  
対象：中学1～3年生（詳細は今後決定）  
会場：各中学校  
教科：数学、英語  
効果：○基礎的・基本的な知識・技能の習得  
○個に応じた課題の克服  
○学習意欲の向上  
※民間業者に委託



### ICT レッスンアドバイザー

- 目的：新しい学びを促すICTシステムの活用支援・授業改善  
内容：○アクティブ・ラーニングを促すツールソフトの操作における授業支援  
○T.T.を中心とする授業実践事例等の紹介や教員への授業提案  
○各学校の導入ソフト・周辺機器の操作支援  
対象：市内全小・中学校  
回数：月2回/校×12カ月×18校＝432回  
時間：7時間（休憩時間を除く）/回  
※民間業者に委託



### ALT 英語教育指導助手

- 目的：○児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成  
○児童生徒がネイティブ・スピーカーの英語にふれる機会の設定  
内容：○担任や英語担当者との協力的な授業づくり  
○英語の授業に必要な教材・教具の作成及び準備  
対象：市内全小・中学校  
回数：小学校は各クラスに週に1回、中学校は週に1回以上のティーム・ティーチング  
効果：ALTが学校に常駐することで、児童生徒は学校生活の様々な場面で英語によるコミュニケーションを体験でき、国際教育の充実が図られる。  
※小学校ALTについては雇用形態を変更





## 平成28年度海外留学奨学事業特別会計予算（案）について

## 1 総括

(歳入)

(単位：千円) 海

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1 財産収入	300	200	100
2 繰入金	6,480	6,100	380
3 繰越金	1	1	0
歳入合計	6,781	6,301	480

外

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	本年度予算額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				財産収入	繰入金	その他	
1 事業費	6,688	6,181	507	208	6,480		
2 予備費	93	120	-27	92			1
歳出合計	6,781	6,301	480	300	6,480	0	1

# 議案第6号

平成28年1月14日

戸田市教育委員会 様

戸田市文化財保護審議会  
委員長 塩野 博

## 戸田市有形文化財の指定について（答申）

平成27年11月6日付、戸教生第926号で諮問のあった標記の件について、戸田市文化財保護審議会で本日審議した結果、下記に掲げる文化財を戸田市指定有形文化財に指定することが適当である旨、答申します。

### 記

#### 1 新たに戸田市指定有形文化財に指定するもの

名称	員数	所在地	所有者
新曽沖内の馬頭観音像	1基	戸田市大字新曽620 (沖内馬頭観音堂)	沖内町会

【新曾沖内の馬頭観音像 指定調書】

種別・種類	有形文化財・歴史資料
名 称	新曾沖内の馬頭観音像
員 数	1基
所 在 地	戸田市大字新曾 620 (沖内馬頭観音堂)
保 存 場 所	同上
所 有 者	沖内町会
概 要	<p>対象資料は、「寛文十庚戌暦三月廿一日(1670年)」の紀年銘がある馬頭観音である。戸田市では17世紀代の馬頭観音は3基確認されており、対象資料は二番目に古い。また、埼玉県全体に範囲を広げてみても対象資料は古い時期のものである。紀年銘の他には「武州足立郡新曾村惣百姓衆中」「奉造立馬頭観音像」という銘文が確認でき、新曾村の惣百姓衆中により造立されたことがわかる。</p> <p>形態は舟形で、三面六臂立像が半肉彫りされた刻像塔であり、馬頭観音が造立され始めた17世紀中葉から18世紀後葉に多く見られる典型例である。総高や台石の有無は不詳だが、現状高は110.7cmを測り、市内では二番目に高い。</p> <p>17世紀代の馬頭観音は、造立数が少ないことにあわせ、路傍など屋外に立つものは風雨等により著しく劣化しているため、銘文などの判読が困難であることが多い。しかし、対象資料は長年にわたり観音堂内に安置されたため非常に保存状態がよく、銘文や表情、持物の判読も容易なうえに、像や光背を滑らかにする際についての調整痕なども観察できる。したがって、馬頭観音が造立され始めた時代の意匠や製作技術を現代に伝えるという点で資料価値がある。</p> <p>また、年に二回のご開帳をするなど、現在も地域の馬頭観音信仰の中心であることは評価に値する。対象資料は、極めて造立当初に近い姿で、信仰と切り離されずに観音堂の再建をくり返しながら守られており、地域の歴史や民俗を物語る文化財として重要な資料である。</p> <p>なお、本資料に関連する周辺の民俗資料についても、継続的に調査を実施する必要がある。</p>
備考	<p>金子弘1979「戸田市の馬頭観世音」『日本の石仏』第10号日本石仏協会</p> <p>金子弘1994「戸田市の石仏考」『研究紀要』第9号戸田市立郷土博物館</p> <p>金子弘2002「馬頭観音信仰考」『研究紀要』第16号戸田市立郷土博物館</p> <p>金子弘2003「文化財の指定を待つ石仏Ⅰ」『研究紀要』第17号戸田市立郷土博物館</p> <p>戸田市史編さん室1980『戸田市の石造物』市史調査報告書第8集埼玉県戸田市</p> <p>戸田市史編さん室1987『新曾・上戸田の民俗』市史調査報告書第12集埼玉県戸田市</p> <p>中村有希 2014「埼玉県における馬頭観世音の変遷と地域性」『古代』第136号早稲田大学考古学会</p>

# 教育委員提案について

平成28年第1回教育委員会(定例会)

平成28年1月28日(木)

戸田市役所3階 教育委員室

# 1 教育委員提案について

ページ

- ① 教員の多忙化対策について.....当日配付  
(学務課)

教育委員提案 資料

1 OECD 国際教員指導環境調査 (TALIS2013) から  
 (教員の仕事の時間配分) について

○日本の教員の1週間あたりの勤務時間は参加国中最長

	仕事時間の合計	指導(授業)に 使った時間	学校内外で個人で行 う授業の計画や準備 に使った時間	学校内での同僚との 共同作業や話し合い に使った時間	生徒の課題の採点や 添削に使った時間	生徒に対する教育相 談に使った時間
日本	53.9	17.7	8.7	3.9	4.6	2.7
参加国平均	38.3	19.3	7.1	2.9	4.9	2.2

	学校運営業務への参画に 使った時間	一般的事務業務に使った時間	保護者との連絡や連携に使 った時間	課外活動の指導に使った時間	その他の業務に使った時間
日本	3.0	5.5	1.3	7.7	2.9
参加国平均	1.6	2.9	1.6	2.1	2.0

※直近の「通常の一週間」において、各項目の仕事に従事した時間の平均。

○参加国：OECD加盟国等34カ国・地域

アルバータ(カナダ)、オーストラリア、フランドル(ベルギー)、ブラジル  
 ブルガリア、チリ、クロアチア、チェコ、キプロス、デンマーク、フランス  
 イングランド(イギリス)、エストニア、フィンランド、アイスランド、  
 イスラエル、イタリア、日本、韓国、ラトビア、マレーシア、メキシコ  
 オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、セルビア  
 シンガポール、スロバキア、スペイン、スウェーデン、アブダビ(アラブ首  
 長国連邦)、アメリカ

○調査対象：中学校及び中等教育学校前期課程の校長及び教員

1カ国につき200校、1校につき教員20名を抽出

○日本の参加状況：全国192校、各校20名(校長192名、教員3,521名)  
 国公立校 約90% 私立学校 約10%

○調査時期：平成25年2月中旬～3月中旬

2 〈在校時間調査結果〉について

学校別の勤務時間外在校時間状況

	学校名	在籍 (人)	勤務時間外の在校時間 80 時間以上の人数と割合	
			6月	10月
小学校			平均7.75人	平均7.5人
1	戸一小	42	↓	↓
2	戸二小	43	↓	—
3	新曾小	31	↑	↑
4	美谷本小	21	↑	↑
5	笹目小	24	↑	↑
6	戸田東小	31	↑	—
7	戸田南小	30	↑	↑
8	喜沢小	21	↓	↓
9	笹目東小	37	—	↑
10	新曾北小	33	—	↓
11	美女木小	28	↓	↓
12	芦原小	27	—	↑
	小学校計	368	93人	90人
中学校			平均14.5人	平均15.6人
1	戸田中	44	—	↑
2	戸田東中	24	↓	↓
3	美笹中	21	↓	↓
4	喜沢中	28	↑	↓
5	新曾中	45	↑	↑
6	笹目中	37	↑	↑
	中学校計	199	87人	94人
	小中計	567	180人	184人

↑ (平均より多い) ↓ (平均より少ない) — (平均とほぼ同じ)

# 報告事項

平成28年第1回教育委員会(定例会)

平成28年1月28日(木)

戸田市役所3階 教育委員室



# 1 報告事項

ページ

- ① 卒業式・入学式等の日程について…………… 1  
(学務課)
- ② 平成27年度戸田市教育フェスティバルの実施について…………… 2  
(指導課)
- ③ 平成27年度いじめ撲滅のための学校の取組状況について…………… 3  
(指導課)
- ④ 戸田市教職員施策提案審査結果について…………… 5  
(指導課)
- ⑤ 「〇輪標語」の応募結果について…………… 7  
(指導課)
- ⑥ 第39回公民館まつりの開催について…………… 8  
(生涯学習課)
- ⑦ その他

## 戸田市立小・中学校平成27年度卒業式及び平成28年度入学式等日時一覧表

学 校 名	平成27年度卒業式		平成28年度入学式		平成28年度 前期・第1学期始業式	
	月／日(曜日)	時 刻	月／日(曜日)	時 刻	月／日(曜日)	時 刻
戸田第一小	3/23(水)	午前9時30分	4/8(金)	午前10時40分	4/8(金)	午前8時35分
戸田第二小	3/23(水)	午前9時30分	4/8(金)	午前11時	4/8(金)	午前8時45分
新 曾 小	3/23(水)	午前9時30分	4/8(金)	午前10時50分	4/8(金)	午前8時40分
美谷本小	3/23(水)	午前9時30分	4/8(金)	午前10時40分	4/8(金)	午前8時40分
笹 目 小	3/23(水)	午前9時20分	4/8(金)	午前10時50分	4/8(金)	午前8時40分
戸田東小	3/23(水)	午前9時30分	4/8(金)	午前10時45分	4/8(金)	午前8時50分
戸田南小	3/23(水)	午前9時30分	4/8(金)	午前10時45分	4/8(金)	午前8時45分
喜 沢 小	3/23(水)	午前9時20分	4/8(金)	午前10時45分	4/8(金)	午前8時50分
笹目東小	3/23(水)	午前9時30分	4/8(金)	午前10時55分	4/8(金)	午前9時
新曾北小	3/23(水)	午前9時20分	4/8(金)	午前10時30分	4/8(金)	午前8時45分
美女木小	3/23(水)	午前9時30分	4/8(金)	午前10時45分	4/8(金)	午前8時45分
芦 原 小	3/23(水)	午前9時30分	4/8(金)	午前11時	4/8(金)	午前8時40分
戸 田 中	3/15(火)	午前9時30分	4/8(金)	午後1時30分	4/8(金)	午前9時
戸田東中	3/15(火)	午前9時25分	4/8(金)	午後1時40分	4/8(金)	午前9時
美 笹 中	3/15(火)	午前9時30分	4/8(金)	午後1時30分	4/8(金)	午前9時5分
喜 沢 中	3/15(火)	午前9時30分	4/8(金)	午後2時	4/8(金)	午前9時10分
新 曾 中	3/15(火)	午前9時30分	4/8(金)	午後2時	4/8(金)	午前8時50分
笹 目 中	3/15(火)	午前9時30分	4/8(金)	午後2時	4/8(金)	午前9時20分

※ 時刻は、開式の時刻です。

## 報告事項②

### 平成27年度戸田市教育フェスティバルの実施について

実施日時：平成28年1月8日（金）

14：00～16：30

実施会場：戸田市文化会館大ホール

#### 1 参加人数

教職員	保護者・一般	来賓	計
478名	5名	24名	507名

#### 2 内容

##### (1) 開会行事

- ・ 市長挨拶
- ・ 市議会議長挨拶
- ・ 来賓紹介
- ・ 戸田市歌「ああ わが戸田市」斉唱

##### (2) 講演

###### ① 講師 文部科学省 初等中等教育局

視学官 田村 学 氏

演題「学習指導要領改訂の方向性

ーアクティブ・ラーニングによる授業改善ー」

###### ② 講師 株式会社ベネッセホールディングス

EdTech Lab EdTech 戦略課

課長 遠藤 慶太郎 氏

演題「未来からの留学生と EdTech による新しい学び

～戸田市とベネッセの包括協定で目指すこと～」

###### ③ 講師 株式会社スプリックス

コンテンツ事業部 ソリューション開発部

部長 堀越 悠介 氏

演題「成績を上げることで子供の人生に貢献する」

平成27年度いじめ撲滅のための学校の取組状況について

	取組	内容	対象	実施校数
全体指導・啓発活動	講話	校長による講話	全校児童生徒	11
		教頭による講話		1
		生徒指導主任による講話		2
		県警スクールサポーターによる講話		1
	学校だより	いじめ撲滅メッセージ・いじめ撲滅3Days	全校児童生徒	2
	児童集会	生活目標発表「友達のよいところを見つけよう」	全校児童	1
横断幕	戸田市いじめ撲滅強調月間横断幕掲出	地域	2	
ポスター	戸田市いじめ撲滅強調月間ポスター掲示	全校児童生徒	全校	
組織・研修	校内組織	生徒指導全体会(いじめに関する校内研修)	教職員	1
		いじめ問題等対策校内委員会開催	教職員	1
		学校評議員会議における情報交換	学校評議員	1
	学校保健委員会	「アサーショントレーニング」演習	保護者・教職員	1
	校内研修	校長による文書配布(教職員の共通理解)	教職員	1
		学校いじめ防止基本方針・児童理解について	教職員	2
		フレッシュ研修(いじめ対応について)	経験5年未満教員	1
		「人権感覚育成プログラム」研修	教職員	1
		「ソーシャルスキルトレーニング」研修	教職員	1
		「アサーショントレーニング」研修	教職員	1

	取組	内容	対象	実施校数
情報収集	アンケート	心のアンケート・学校をよりよくなるアンケート	全校児童生徒	全校
		学校満足度調査(QUテスト)実施・分析・対応	全校児童	1
	授業観察	中学校SCによる授業観察と担任との面談	6年生	1
	教育相談	担任との面談	全校児童	1
三者面談		全校生徒・保護者	1	
学習指導	道徳授業	「生命尊重」「友情・信頼」などに関わる道徳授業	全学級	全校
	学級活動	「言葉づかい」「あいさつ」「人との関わり方」	全学級	1
		いじめ対応プログラム(青山学院大との包括連携事業)	6年生・全校生徒	7
		スマイルキャンペーン(いじめ撲滅標語作成)	全校児童	1
		ソーシャルスキルトレーニング	全校児童	1
	情報モラル教育	情報セキュリティ講演会	5・6年生・保護者	3
児童生徒による活動	児童会 生徒会	「思いやりの木」	全校児童	1
		いじめ撲滅スローガン発表	全校児童生徒	4
		ポカポカ言葉の発表と呼びかけ ふわふわ言葉推進月間の発表 なかよし言葉の紹介・掲示	全校児童	6
		「誓いの手」運動	全校生徒	1
		いじめ撲滅宣言「HAPPY TURN」	全校生徒	1
	あいさつ運動	朝のあいさつ運動・ハイタッチ運動	全校児童	3
	たてわり活動	全校遠足・たてわり遊び・たてわり給食	全校児童	2
	行動宣言	NHK「100万人の行動宣言」記入	全校児童・教職員	5
	標語	いじめをなくすための標語の作成と掲示	全校児童生徒	4
		人権標語の作成と掲示	3～6年	1

## 平成27年度 戸田市教職員「施策提案」及び「小さな誇れる実践提案」 審査結果について

### <審査会>

日時：平成28年1月12日（火） 10:00～10:25

会場：戸田市役所3階 教育委員室

### 1 審査結果について

(1) 概要の説明（事務局）

(2) 賞の決定

### 2 その他

### <審査員>

- ・戸田市教育委員会 教育長 戸ヶ崎 勤
- ・戸田市教育委員会 教育部長 中川 幸子
- ・戸田市教育委員会 次長 鈴木 研二
- ・戸田市立戸田第二小学校 校長 山寄 厚
- ・戸田市立喜沢中学校 校長 長道 修

### <事務局>

- ・戸田市教育委員会 指導課長 山根 淳一
- ・戸田市教育委員会指導課副主幹 藤田 政貴
- ・戸田市教育委員会指導課教育支援員 梶 賢治

## 平成27年度戸田市教職員「施策提案」及び「小さな誇れる実践提案」審査結果について

戸田市教職員施策提案については、同要項に基づいて、各学校に募集したところ、計37件の提案がありました。そこで、同要項第8条により、審査会を開催した結果、下記の提案が優秀提案となりました。

提案された施策については、教育委員会関係課における、今後の施策策定及び事業改善の参考とさせていただきます。

### 記

#### 「施策提案」の部

入賞	学校名	職名	氏名 (敬称略)	提案の件名	共同提案者
金賞	戸田南小学校	教頭	長久保正俊	知のリソース提供プロジェクト	
<提案内容>	<p>○学校から積極的に人材や施設を地域へ提供・開放することで、学校と地域が双方向の協力関係を築く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員からボランティアとして地域に貢献できる事柄を集約する。</li> <li>・集約したデータを町会等に紹介し、活用していただく。</li> <li>・地域の活性化が期待できる。</li> <li>・教職員が地域と交流することで対人関係の大切さを学ぶことができる。</li> <li>・学校と地域との協力関係が深まる。</li> </ul>				
銀賞	新曽北小学校	教諭	栗原 洋人	「子供版 戸田市史」の作成	
<提案内容>	<p>○子供が郷土への愛着を育むために、戸田市の歴史が分かる子供向け資料を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が資料の編纂に関わりながら、小学校6年生の学習に関連したパンフレットを作成する。</li> <li>・作成したパンフレットは授業で活用したり、家庭でも読んでいただく。</li> <li>・子供の郷土への愛着が深まり、歴史への興味が増すことが期待できる。</li> <li>・編纂に関わった教員が戸田市の歴史を学ぶことができる。</li> </ul> <p>(現在、郷土博物館では市制施行50周年に向けた戸田市史の通史統編の編纂事業に着手している。)</p>				
銅賞	戸田南小学校	教諭	寺山 光喜	児童が快適に学習するための教室の整備	
<提案内容>	<p>○学力向上の手立ての一つとして、教員が計画的に教室整備を学ぶ機会を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベテラン教員が定期的に若手教員の教室訪問を行い、教室整備上の改善点を示す。</li> <li>・お互いの教室を評価し合う「教室環境改善キャンペーン」を実施する。</li> <li>・学校全体での教室整備についての意識が高まる。</li> <li>・学級経営について教員間で話合う機会が生まれることが期待できる。</li> <li>・今後の若手教員の学級経営上の参考となる。</li> </ul>				
敢闘賞	新曽中学校	主幹教諭	長野 真吾	地域の学習塾と連携した授業改善と自己評価シートへの活用	
<提案内容>	<p>○教師の授業を学習塾の講師が評価するシステムを構築し、授業改善や自己評価に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「戸田市版 教師の授業評価項目」を作成し、市で授業評価の項目を設定する。</li> <li>・教員は、自己評価シートに「授業改善の手立て」を記入する。</li> <li>・「戸田市版 教師の授業評価項目」に沿って、塾の講師が教員の授業及び「授業改善の手立て」の評価を行う。</li> <li>・第三者による客観的な評価が加わることで、的確な助言を得ることができる。</li> <li>・教員の授業改善のモチベーション向上につながる。</li> </ul>				

※今年度は、「敢闘賞」を設けました。

#### 「小さな誇れる実践提案」の部

入賞	学校名	職名	氏名 (敬称略)	提案の件名	共同提案者
金賞	笹目中学校	主幹教諭	春山 敦	指導案データバンク	
<提案内容>	<p>○誰もが閲覧できる「指導案データバンク」を設定し、データを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の実態に合わせてデータバンク内の指導案を活用する。</li> <li>・活用後は、工夫改善した新たな指導案をファイリングする。</li> <li>・若手・ベテランを問わず、個々で自主的に研修できる。</li> <li>・小・中学校間の指導法の連携を図ることができる。</li> <li>・指導案の工夫改善の積み重ねが、市全体の学力向上につながる。</li> </ul>				
銀賞	新曽北小学校	専門員	小野寺洋子	給食費未納0の取組	
<提案内容>	<p>○入学前から丁寧に働きかけ、未納のおそれのある家庭に丁寧な対応をとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入学児童家庭に対して入学前から丁寧に説明を重ねる。</li> <li>・入学後、未納額が増えそうな家庭に対してこまめに連絡をとる。</li> <li>・電話連絡時に当該家庭とよい関係を築く。</li> <li>・市内で事務共同実施を行い、学校によって対応が異なるようにする。</li> <li>・現在、勤務校では18年連続給食費未納0が継続されている。</li> </ul>				
銀賞	美谷本小学校	教諭	伊藤 敏郎	教員の指導力向上を目指した情報共有のための板書バンク	
<提案内容>	<p>○授業後の板書を撮影して、情報を共有することで教員の指導力向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業後の板書を電子データとして記録し、それらを誰もが閲覧できるように整備する。</li> <li>・研修会等で互いの板書を検討し合う。</li> <li>・教員が互いの板書を見る機会は少ないため、データは特に若手教員にとって貴重な資料となる。</li> <li>・毎時間記録することにより、さらにより授業や板書をするよう努力することが期待できる。</li> <li>・板書の重要性について共通理解を図ることができる。</li> </ul>				

戸教指第2779号  
平成28年1月6日

戸田市立各小・中学校長 様

戸田市教育委員会  
教育長 戸ヶ崎 勤

戸田市インクルーシブ教育システム構築モデル事業「○輪標語」の応募  
結果について（通知）

平成32年（2020年）に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向け、別添要領のとおり標語を募集したところ、多数の応募がありました。本事業への御協力に感謝いたします。

厳正なる審査により、審査結果は下記のとおりとなりましたので通知します。

## 記

- 1 応募総数 3144件（児童生徒、教職員）
- 2 審査結果  
最優秀賞 「互輪（ごりん）」 新曾小6年、新曾中1年  
主な理由 パラリンピックの名前の由来が「もう一つのオリンピック」という意味なので、同じ読み「互」にしました。互いに助け合い、理解し合い、協力し合い、障がいのあるなしに関わらず、オリンピックもパラリンピックも互いにかんばってほしいと思います。  
優秀賞 小学生の部  
「優輪（ゆうりん・ゆうわ）」 芦原小4年、美女木小4年、  
新曾北小6年、新曾小6年、  
戸二小6年  
「輝輪（きりん）」 新曾北小6年、戸田南小4年、  
新曾小5年  
「夢輪（ゆめりん・ゆめわ）」 戸東小6年、戸田南小6年、  
戸二小3年  
「一輪（いちりん）」 戸東小6年、美谷本小6年  
中学生の部  
「輝輪（きりん）」 戸田中3年、戸田東中3年、  
美笹中1年、新曾中1年  
「虹輪（にじりん）」 戸田中3年  
「響輪（きょうりん）」 戸田東中3年  
「夢輪（ゆめりん）」 戸田東中2年
- 3 表彰 入賞者には学校を通じて賞状を贈呈いたします。（学校から推薦を受けた児童生徒・教職員のみとなります。）
- 4 入賞作品  
・「教育広報とだ」に掲載します。  
・インクルーシブ教育システム構築モデル事業に係るリーフレットや報告書等に使用するとともに、2020年に向けた戸田市のオリンピック・パラリンピック事業の取組として、国への情報提供を行います。

担当：戸田市立教育センター  
杉森 TEL 434-5660



# 公民館まつり

戸田市



ふれあい・まなびあい

心のふれあい

いっしょに手づくりをどうぞ

〔各サークルの作品展示〕  
活動発表・お茶会他

※当日は駐車場が込み合いますので、自動車でのご来場はなるべくお控え下さい。

下戸田公民館：平成28年2/20(土)・21(日)

美笹公民館：平成28年2/27(土)・28(日)

新曽公民館：平成28年3/ 5(土)・ 6(日)

午前  
10時から  
午後  
4時まで



# 第2回 戸田市

## ウィルチェアーラグビーフェスタ

戸田市で2回目となる車いすラグビーのイベントを開催します。

ロンドンパラリンピック4位、2014アジパラ競技大会で金メダル、そしてリオパラリンピックにも参加する日本代表選手も参加。デモンストレーションや、一般の方を交えての体験会も実施します。



車いす同士が激しくぶつかり合う迫力を  
観て、体験してください！

**2016年2月13日(土)** 入場無料

※上履きをご持参ください  
午前の部 10:00 (開場9:30)、午後の部 13:30 (開場13:00)

**場所：戸田市スポーツセンター 第一競技場**

### ■プログラム

(午前の部)

- 10:00～ 開会式
- 10:10～ ラグビーデモンストレーション
- 10:30～ 参加者体験会・エキシビジョンゲーム
- 12:00～ 閉会式

(午後の部)

- 13:30～ 開会式
- 13:40～ ラグビーデモンストレーション
- 14:00～ 参加者体験会・エキシビジョンゲーム
- 15:30～ 閉会式

## ウィルチェアーラグビー

ウィルチェアーラグビーは、四肢麻痺者等(頸髄損傷や四肢の切断、脳性麻痺等で四肢に障害を持つ者)が、チーム・スポーツを行なう機会を得るために1977年にカナダで考案され、欧米では広く普及している車いすによる国際的なスポーツです。アメリカやヨーロッパの一部の国では、四肢に障害を持つ者が行う競技であることから"クワドラグビー(QUAD RUGBY)"とも呼ばれており、また、当初はその競技の激しさから"マダーボール(MURDERBALL(危険な球技))"と呼ばれていた歴史を持っています。

1996年のアトランタ・パラリンピックにデモンストレーション競技として初登場し、2000年のシドニーパラリンピックからは公式種目になりました。日本代表は、2012年のロンドンパラリンピック4位、2014年の仁川アジアパラ競技大会では金メダルを獲得。

今年度は11月1日のアジア選手権で初優勝。2016年リオパラリンピックの出場資格を獲得し、最新の世界ランキング(平成27年11月現在)では、世界3位となりました。

主催：戸田市・戸田市教育委員会・日本ウィルチェアーラグビー連盟・(公財)戸田市文化スポーツ財団

協力：戸田市スポーツ推進委員連絡協議会

協賛：大塚製薬株式会社・埼玉ヤクルト販売株式会社

問い合わせ：戸田市市民生活部文化スポーツ課 048-441-1800 (内333)

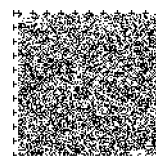
# 第3次戸田市教育振興計画 ～概要版～

生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田

～とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を～



戸田市・戸田市教育委員会



## ■ 計画策定の趣旨 ■

近年、あらゆる分野においてグローバル化や情報化の進展などにより、世界全体が急速に変化する中、我が国では、今後も出生率の大きな改善が見込まれず、高齢化の一層の進行・人口の減少が見込まれます。また、地域のつながりの希薄化や社会規範の低下、学力・体力の二極化、いじめ、不登校など、依然多岐に渡る事項が教育課題として指摘されています。他方、未曾有の被害をもたらした東日本大震災を契機に、命を守るための取組が加速するとともに、人と人とのつながりの重要性が再認識されるなど、人々の意識に大きな変化をもたらし、教育分野においても、一人一人の「生きる力」を確実に伸ばす取組の推進が求められています。

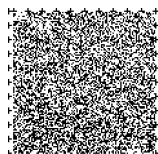
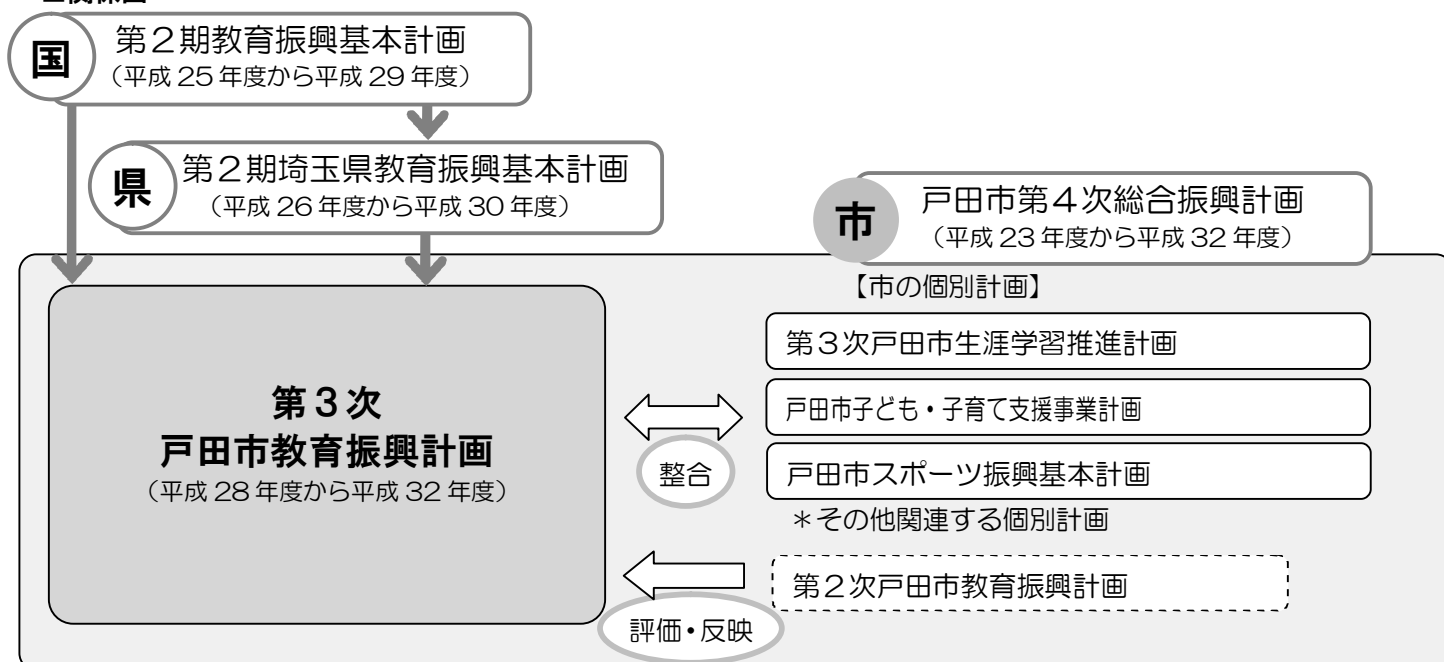
そのようなめまぐるしく変化する社会・経済情勢や、教育を取り巻く状況の変化等を踏まえ、本市では、教育基本法第17条第2項の規定に基づき、平成17年に「戸田市子ども教育ビジョン 小・中学校教育プラン（戸田市教育振興計画）」を、平成23年に「第2次戸田市教育振興計画」を策定し、子供たち一人一人がそれぞれの状況に応じてたくましく生きる力を地域ぐるみで育む、教育のまちづくりを推進してきました。

このたび、本市において、第2次戸田市教育振興計画の計画期間が平成27年度末に終了することから、法改正や、国・埼玉県の動向を考慮するとともに、市の各種関連計画との整合性を図りつつ、平成28年度を計画初年度とする「第3次戸田市教育振興計画」（以下「本計画」という。）を新たに策定いたしました。

## ■ 計画の位置付け ■

本計画は、教育基本法第17条の規定に基づいて策定する、戸田市における教育振興のための施策に関する基本的な計画です。また、国・埼玉県に関連計画を考慮するとともに、戸田市第4次総合振興計画を基盤として、市の教育に関連する計画との整合を図りつつ策定します。

### ■ 関係図



## ■計画の期間・対象■

本計画の期間は平成 28 年度から平成 32 年度の5年間とします。なお、計画期間中、状況の変化により見直しの必要性が生じた場合には、適宜計画の見直しを行うこととします。また、本計画の対象は、学校教育を中心としつつ、すべての年齢層を対象とします。

	平成 22	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	平成 32
教育振興計画				第2次			第3次				

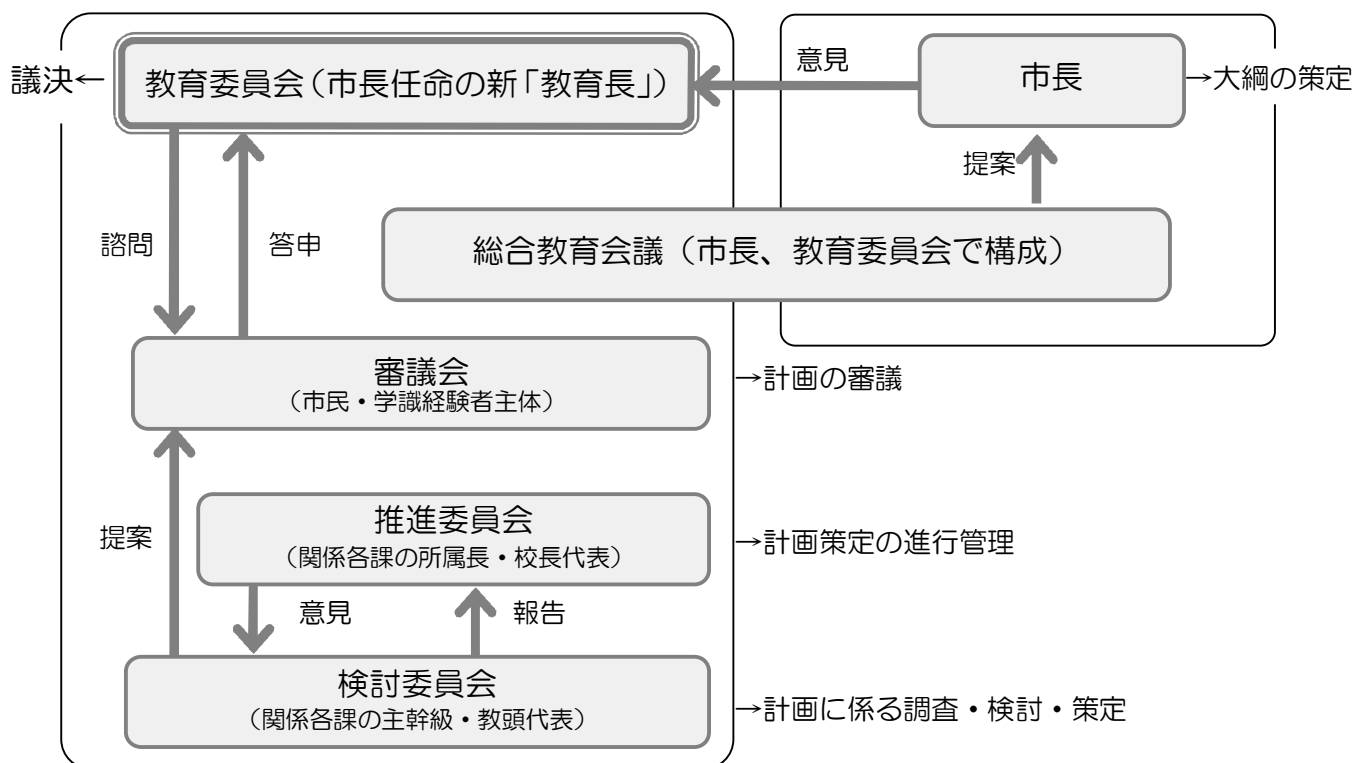
## ■計画策定体制■

本計画は、市民 1,300 人、小・中学生 1,789 人、教職員 505 人をそれぞれ対象に実施したアンケート調査や、各種団体等へのヒアリング調査、パブリックコメントの実施等を通じ、広く市民、地域の意見の反映に努めました。そして、庁内の検討機関である「戸田市教育振興計画検討委員会」・「戸田市教育振興計画推進委員会」において協議を重ね、計画案を策定し、「戸田市教育振興計画審議会」にて計画内容を審議しました。

また、国の法改正に伴い、平成 27 年 4 月より、「総合教育会議」が新設されました。総合教育会議では、教育行政の大綱の策定、教育の条件整備など重点的に講ずべき施策等の協議・調整等を行います。大綱は、本市の教育行政を推進するための基本指針となるもので、本計画は大綱と整合性を図り、具体的な施策を定めたものです。

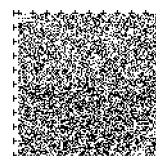
最終的には、教育委員会における議決をもって、本計画の策定を行いました。

### ■計画の策定体制



### ■市民意見の反映

アンケート調査	小・中学生、教職員、市民を対象に市の教育に関するアンケートを実施
団体等ヒアリング調査	教育にかかわる各種団体等より、それぞれの立場から現状や課題についてヒアリングを実施
パブリックコメント	計画素案に対する市民意見募集を、市のホームページ等を通じて実施



## ■計画の基本理念とキャッチフレーズ■

戸田市の教育をめぐる課題と対応の方向性およびこれまでの教育分野における取組、今後の教育をめぐる社会の動向等を踏まえ、本計画の基本理念とキャッチフレーズを次のとおり定めます。

### 【基本理念】

生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田

### 【キャッチフレーズ】

～とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を～

## ■基本目標■

本計画の基本理念に基づき、施策展開を進める上での方向性を示す基本目標を、次のとおりとします。

### 基本目標1 やり抜く力を育む教育を推進する

#### ～確かな学力と生徒指導の充実を図る～

基礎的・基本的な知識・技能の定着と、習得した知識・技能を十分に活用できる確かな学力や、問題に直面した際に解決するために思考を働かせ、行動していく力を育成します。

また、健全な生活習慣を身に付け、思いやりの心と規範意識をもって主体的に行動する、心豊かで健康的な子供を育てる教育を推進します。

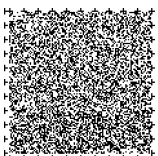
そして、一人一人の様々な違いについて理解し、互いを尊重し支え合う共生の心や、自ら考え、行動する、国際社会や地域社会で活躍できる人材の育成を目指します。

### 基本目標2 よりよい教育環境を整備する

#### ～産官学民及び家庭・地域と連携し、知のリソースの活用を図る～

文部科学省や県教育委員会、民間企業や大学など、産官学民との連携を図り、楽しくわかり、学びあい、理解が深まる授業づくりなどの教員の指導力向上、相談への対応力向上をはじめとした教職員の資質向上や、教職員が子供と向き合い、成長を十分にサポートできる体制づくりを推進します。

また、各学校の環境や特色を活かした安心・安全な学校づくりと、ICT 環境の整備充実をはじめとした効果的な学びを支援する施設・設備の充実を目指します。そして、開かれた学校づくりや施設開放、学びの機会の確保を通じて、誰もが安心して快適に学べる、よりよい学習環境・教育環境の整備を目指します。



## ■目指す児童生徒像■

### 目指す児童生徒「とだっ子」像

希望を持ち、思いやり、未来を拓くため  
最後までやり抜く児童生徒

基礎的・基本的な事項を身に付ける  
主体的に判断、行動する

確かな学力  
(知)

自ら課題を見つけて学び、考える  
よりよく問題を解決する  
協動的・協働的に学び合う

豊かな心  
(徳)

調和

健やかな体  
(体)

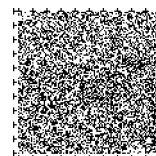
自らを律しつつ、他人とともに協調する  
他人を思いやり、感動する心を育む

たくましく生きるための健康や体力を育む

## ■キャッチフレーズについて■

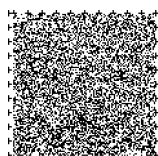
とだっ子が、IQ や学力テストなどで測れる学力などの「認知能力」だけでなく、好奇心や自制心、やり抜く力などの「非認知能力」を身につけ、夢や希望を持ち、21 世紀を主体的に生き抜いてほしいとの思いから定めるものです。

やり抜く力は、自ら設定したゴールに向けて、努力し続けることができる力のことで、このような「非認知能力」は、人生の成功に非常に重要であることが諸外国の研究で示されています。



## ■ 施策の体系 ■

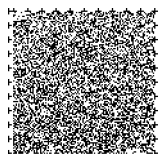
基本目標	施策の方向	施策
1 ～ 確かな学力と生徒指導の充実を図る～	1 確かな学力の育成	1 楽しく、わかり、のばす授業の充実
		2 学習意欲の向上と学習習慣の確立
		3 学習機会の確保と学習支援
	2 豊かな心の育成	4 情操を豊かにする教育の充実
		5 道徳的実践力や規範意識・社会性の育成
		6 生徒指導と相談・支援体制の充実
	3 健やかな体の育成	7 健康教育、食育、学校安全の推進
		8 健康づくり・体力向上の推進
	4 国際社会で活躍できる人材の育成	9 能動的に課題を見つけ対応する力の育成
		10 国際社会で活かせるコミュニケーション力の育成
2 ～ 産官学民及び家庭・地域と連携し、知のリソースの活用を図る～	5 新しい学びの創造	11 民間の教育力の活用
		12 学習支援器材の充実
	6 教員の資質向上・支援	13 教員の指導力の向上
		14 教員が児童生徒と向き合える体制づくり
		15 保護者・地域からの信頼の醸成
	7 学校施設・設備の充実	16 安全・安心な教育環境の確保
		17 ICT 環境の充実
	8 特別支援教育の充実	18 特別支援教育の充実
		19 相談・支援体制の強化
	9 家庭・地域の教育力向上	20 就学前教育への支援
		21 家庭教育への支援
22 保護者同士の交流・学習機会の充実		
10 家庭・学校・地域の連携	23 教育関連組織・団体活動への支援	
	24 子供の安全な居場所づくり	
	25 青少年の健全育成	
	26 戸田市らしい教育の推進	
11 生涯学習・生涯スポーツの振興	27 生涯学習活動の振興	
	28 文化・スポーツ活動環境の整備	





## 主な取組

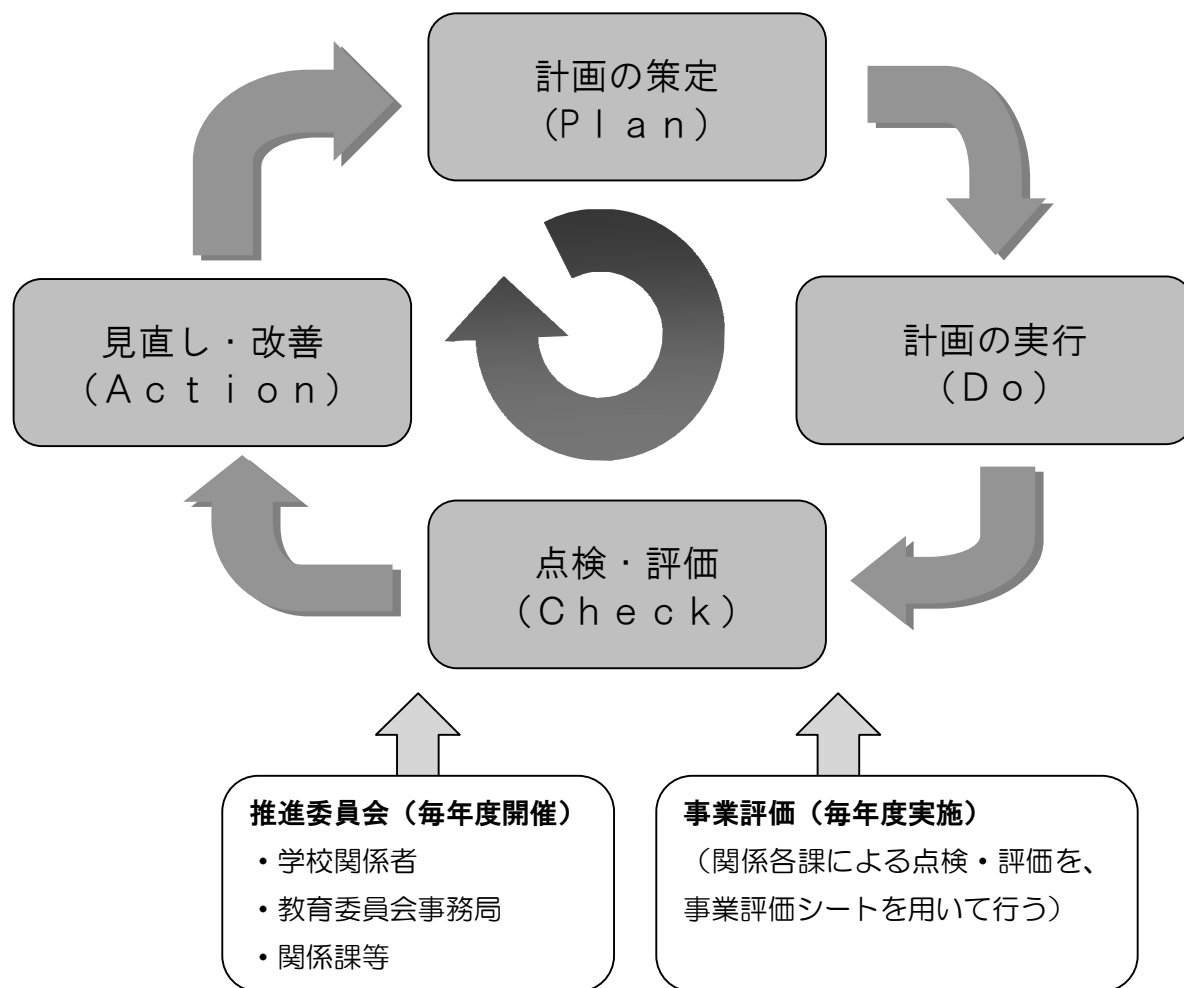
- 学力向上に向けた取組 ・ 指導力の向上に向けた取組 ・ アクティブ・ラーニングの推進 ・ 協調学習の推進
- 家庭での学習への情報提供や支援
- 放課後等を活用した学習支援 ・ 就学支援
- 情操を育む体験・交流活動（自分や他者をいたわる気持ちの涵養 等）
- 道徳の授業の充実 ・ ボランティア活動 ・ 社会体験活動の充実
- 生徒指導の充実 ・ 児童生徒・保護者への相談・支援体制の充実
- 健康教育の充実 ・ 学校における食育の推進 ・ 学校安全の推進
- 体力向上の推進 ・ 部活動の充実
- アクティブ・ラーニングの実施（再掲） ・ 協調学習の推進（再掲） ・ 情報教育の推進（ICT 教育等） ・ ESD の推進
- 国語教育の充実 ・ 外国語教育の充実 ・ 情報教育の推進（ICT 教育等）（再掲）
- 学習塾等と連携した教育支援
- ICT 機器等の積極活用
- 教科指導力の向上に向けた取組 ・ 保護者・地域とのコミュニケーション力強化に向けた取組
- 多忙への対応 ・ 教員の健康管理・相談支援（問題や悩みへの対応含む）
- 学校応援団の充実 ・ 学校評価の推進 ・ 保護者・地域とのコミュニケーション力強化に向けた取組（再掲）
- 教育施設・設備の充実 ・ 学校安全の充実
- ICT 環境の充実
- 特別支援教育の推進 ・ 共に学ぶ環境づくり
- 早期発見・療育支援、保護者への支援
- 保育園、私立幼稚園への支援 ・ 学びへの興味の醸成
- 適切な生活習慣確立に向けた支援 ・ 家庭への情報提供・相談支援の充実
- 保護者同士の交流・学習機会の充実
- 子ども会活動への支援 ・ PTA 活動等への支援
- 学童保育の充実 ・ 放課後子ども教室の充実 ・ 既存施設の積極的な活用
- 家庭・学校・地域と連携した青少年の健全育成
- 地域の人材・団体・施設等と連携した学習の推進 ・ 自然環境を活かした体験学習の推進
- 市の多様な生涯学習関連施設を活用した学習の推進 ・ 生涯学習団体への支援
- 地域資源を活かした文化・スポーツの推進 ・ 放課後・土曜日の学校施設の開放 ・ 文化活動団体・スポーツ活動団体との連携強化



## ■計画の推進に向けて■

本計画の推進に向けて、学校関係者・教育委員会事務局・関係課等で構成する推進委員会を設置します。また、計画の進行管理に当たっては、PDCAサイクルに沿って行います。計画内容に沿って事業を推進する中で、事業評価の実施を通じて毎年度の進捗について関係各課にてチェックを行います。そして実施された事業評価をもとに、推進委員会において改善に向けた検討を行います。さらに、推進委員会の検討内容をもとに、関係課による次年度予算に反映するための実務的検討を行います。

### ■PDCA サイクルに基づく計画の推進イメージ



### 第3次戸田市教育振興計画 ～概要版～

発行・編集：戸田市・戸田市教育委員会

発行年月日：平成28年3月

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号

電話：048-441-1800 (代)

FAX：048-443-9033

